

共創コミュニティ推進事業について

1 「新潟市総合計画2030」との関連

重点戦略6：誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現

政策：政策1 多様な主体との連携・協働による新しい価値の創造

2 事業課題

人口減少・超高齢社会の進行に伴う地域課題の多様化・複雑化により、従来のような行政・地縁組織中心の取組での地域対応に限界

3 事業目的

地域の「人」自らが主体となる持続可能な地域づくりを推進すること

4 これまでの取組み

令和5年度～令和7年度

地域の「人」が主体となる持続可能な地域をつくることを目的として、地域で意欲的に活動する人たちがつながる機会の創出支援などにより、共創コミュニティ形成を後押ししてきた

共創コミュニティ推進事業のコミュニティー一覧(～令和7年度)

<p><北区> 松浜エリアリノベーション (R5～)</p> <p>地域の空き家の解消に向けて、空き家のオーナーと活用したい人々を結びつけるエリアリノベーションをR5年度・R6年度それぞれで開催。地域の内外から空き家を活用したい方々が集まり、カフェやこどもの居場所などを提案。</p> 	<p><北区> 海辺の森ボランティア制度運営委員会 (R6～)</p> <p>海辺の森で環境保全活動やイベント運営に関わる人材を募るボランティア制度を立ち上げ、新潟医療福祉大学と連携し単位互換も行うなど、学生を中心とした人材ネットワークを形成している。R7.4には、運営委員会主催のイベントを開催予定。</p> 	<p><東区> オープンファクトリー (R6～)</p> <p>東区でものづくりをしている企業による工場見学イベント。今年度は、11月2日に開催。実行委員会形式で運営しており、今年度は、若者や学生など、新たなメンバーを巻き込みながら、商品開発部会で工場の技術や材料を活かした商品開発を行った。</p> 
<p><中央区> ハマベリング!!!会 (R5～)</p> <p>日和山浜を含めたしちまち地区の交流人口拡大に向けて、当地区内で活動する人達が集まり地域課題や対応策を検討。今年度は、11月に港町になぞらえたマリンスタイルの編み物ファッションに身を包んだ人たちが街に繰り出し、笑顔と会話が広がる「浜ホーダー」というイベントを初開催。</p> 	<p><江南区> 江南区商産福連携 (R5～)</p> <p>事業者および農業者と障がい福祉事業所のマッチングや投産品の開発などに向けた連携の枠組。今年度は、より連携を強化するため、関係者の交流・つながりの機会創出として講演会とワークショップを実施。</p> 	<p><江南区> 横越地区活性化まちづくり実行委員会 (R6～)</p> <p>エリアの活性化を目指し、事業者や農業者で実行委員会を組織し、よここし公園などの公共空間を活用したイベント等を実施。今年度は、11月に地域の事業者・農業者が出店する「よここし公園でマルシェ」を開催し、2,000名を超える来場者で賑わう空間づくりを行った。</p> 
<p><江南区> 江南区青年5団体連絡会議 (R6～)</p> <p>江南区内の5つの商工会議所青年部のメンバーが集まり、地域の活性化に向けた企画運営を行うコミュニティを形成。直近の会合では、メンバー同士の交流を深めるとともに、コミュニティの共通ビジョン(目的)のすり合わせを行った。</p> 	<p><秋葉区> 「タイトル未定」実行委員会 (R6～)</p> <p>秋葉区で個々に活動する多様な活動団体をつなぐ会を昨年3月に開催。学生や社会人、起業家など若手中心に140名もの人が参加。今年の3月には、各分野で活躍する秋葉区内のプレーヤー連によるトークイベントを開催予定。</p> 	<p><南区> 月瀬・味方地区メディアコンテンツベース (R6～)</p> <p>昨年3月に地域で活動する人達が集まり、地域でしていきたいことを語りあった。その中で地域の「トリセツ」を作成するプロジェクトが立ち上がり、さらにそれが発展し、より多くの方にこの地域を知ってもらうためロケ誘致を行う活動団体(実行委員会)を立ち上げた。</p> 
<p><西区> MEETUP!! NIGATA WEST 2040 (R5～)</p> <p>区内で意欲的に活動する方々を中心に、70人規模のキックオフミーティングを一昨年の7月に開催。続く活動として、新潟大学と連携した西区妄想ラボ、水辺空間の活用をテーマとしたシンポジウムやワークショップを開催。</p> 	<p><西蒲区> にしかんみらいBASE (R5～)</p> <p>一昨年の12月にキックオフミーティングを開催。35歳以下の申し込み者が48%と若手が中心の会を発足。今年度は、人と人がつながる機会を定期的に開催。地域運営のフリスクールや西蒲区大じゃんけん大会など、個性豊かな取組につながっている。</p> 	

令和7年度～

形成された市内8区11の共創コミュニティから新たに生まれる地域課題解決を目的とした取り組みに対し、地域おこし協力隊制度を活用した共創コミュニティマネージャーの配置やクラウドファンディング型ふるさと納税等を活用した支援を行っている

・共創コミュニティマネージャー（地域おこし協力隊）

総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、共創コミュニティの取組の活性化や、ネットワーク拡大を推進するハブ人材として共創コミュニティマネージャーを各区に配置
令和7年度：中央区、江南区、秋葉区の活動へ各1名配置

・クラウドファンディング型ふるさと納税補助金

共創コミュニティにおける地域の課題解決や活性化に向けたプロジェクトに対してふるさと納税による寄附を募集し、集まった寄附金を財源にプロジェクト実施者に補助するもの。資金調達だけでなく、寄附募集を通じ、活動を知ってもらう、共感してもらうことで、「応援してくれる人」、「一緒に活動してくれる人」を増やすコミュニティの充実の機会として活用。

令和7年度：2区（プロジェクト）に交付

5 令和8年度の取り組み

これまでの「つながる場づくり」から「形成されたコミュニティの持続・発展」へ事業フェーズを転換。地域おこし協力隊制度やクラウドファンディング型ふるさと納税等を活用し、コミュニティ内外で人や活動をつなぎ、区域を超えた連携、横展開による全市的な相乗効果を図る。

6 目指す姿

